


第四十九号 二〇二〇年九月十日発行



高山留学生学生だより

かけはし

発行 公益財団法人 高山国際教育財団  
住所 〒160-0022 新宿区新宿 2-9-23  
SVAX 新宿ビル B 館 6 階  
電話 03-3225-8058  
ファックス 03-3355-7654  
e-mail TIEF@ takayama-foundation. or. jp  
ホームページ <http://takayama-foundation. or. jp>

## 2020 年度奨学生授与式報告



去る 7 月 6 日（月）、公益財団法人高山国際教育財団の 2020 年度奨学生授与式が京王プラザホテルで渡邊理事長ご参列のもと開催されました。（詳細は 2 ページに続く）

## かけはし第 49 号目次

表紙 2020 年度奨学生授与式報告 集合写真	1
目次	2
2020 年度 授与式報告	1-6
高山会だより	6-7
編集後記	8

### 2020 年度 授与式報告

開催日 2020 年（令和 2 年）7 月 6 日（月）  
出席者 渡邊理事長、2020 年度奨学生 39 名、  
2019 年度奨学生 2 名、ゲスト 1 名、  
事務局 4 名、合計 49 名

#### 〔渡邊理事長ご挨拶〕

皆様、ようこそ 2020 年度の高山国際教育財団奨学生授与式にお集まりくださいました。困難な時期に、しかも日本は豪雨に見舞われた時期に、何かと心穏やかにならない時に、皆様新しいスタートを切るために、このコロナ禍の一番問題になっている新宿にお集まり頂きまして、感慨も一入でございます。

私は理事長の渡邊久子と申します。45 年間に渡って子供の心の問題を専門とする、児童精神科の医者でございます。若者にとってどれ程、理解され、支援され、自分の希望を膨らませて、コツコツと努力をしていくことが大事かと言う事を、私は何万と言う若者・子供達から教えられました。皆様は難関とも言える高山財団の選考をパスされて、今日この場に臨まれたことは、本当によく頑張られ立派だと称賛すると共に、本当に嬉しく思います。皆様が今日から参加する高山国際教育財団と言うのは、2001 年に伯東会社、これから新徳取締役がご説明くださいますけれども、伯東株式会社を設立された高山成雄先生が創立したものです。85 歳でこの高山財団を創立されました。そして例会に高山先生は出席なさって、高山ファミリーの父として「皆様が本当に

幸せに頑張っているか」と言う事を確認しながら、2010 年に亡くられました。私共はその高山先生を先輩に持ち、その意思を皆様に何とかお伝えしたい。つまり高山財団の目標・目的と言うのは『その人の、そのお子さんの、その若者の責任ではない、経済的な困難の為に勉学がしたくてもどうしてもできないと言う方達を、出来る限り応援し行こう』と。それも『アジアの困難な地域の方達を最優先に応援して行こう』そう言う趣旨の財団です。そして一旦高山財団の輪に加わって頂いたら、血は繋がらなくとも、国籍は違っていても、同じ心で繋がり合う同志として、仲間として、ずっと責任を持って真心を込めて見守ります。ですからご覧頂ければ分かるように、コロナがない時には定例会や研修会とか、楽しい催し物があります。そして何よりも『お金ではなく、お金の奥にある真心。皆さんが本当に納得の出来るような人生を展開できるように。そしてそのためには良い指導者、良い友達・良い自分の勉強の選択と言った、色々なもの出来るだけ恵まれるように』と言ってやってきたものです。そして高山成雄先生ご自身が、日本人として生まれながらアメリカで育ち、戦争中は日本の兵隊としてアメリカと戦いました。『二つの祖国に育まれて』と言う、文芸社から出版された自伝には、その中で激動の戦中戦後の日本の中で、ともかく情熱だけは失わない、失敗してもくじけない、成功しても驕らない、そしてお金が貯まっても決して無駄遣いせずに、1 円たりとも粗末にしない。次の世代の若者たちにちゃんと良い道を残すために、お金を残していこうと言う精神の先生だったんですね。ですから皆様方が直接会えないのは残念ですけれども、今私がこのように高山先生のお話をしているだけで、高山先生の青年